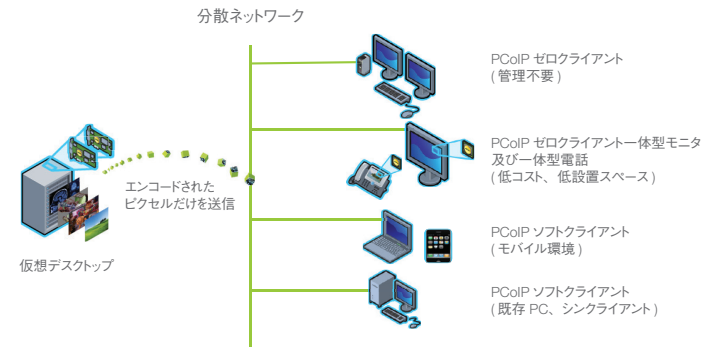


クイックスタートガイド



APEX 2800 PColP サーバオフロードカードは、CPU から PColP イメージエンコーディングの処理をオフロードする様に設計されており、この機能により CPU 使用率を低減し、アプリケーションパフォーマンスの向上を提供します。

互換性のあるクライアント端末



警告

1. 設置を行う際は、常に電源を切り電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。電源スイッチのみをオフにしてもサーバ PC の基板回路は作動中の場合があります。通電した状態でこれらの作業を行った場合、怪我や機器破損の原因となります。
2. 静電気によるカード損傷を防ぐ為、作業の際は常に静電気への対策が行われている事を確認してください。

PS2136




この度は APEX 2800 PColP サーバオフロードカードをご購入頂き、誠にありがとうございます。このクイックスタートガイドでは APEX 2800 のインストールと設定について記述しています。

内容物

- APEX 2800 カード
- クイックスタートガイド (このドキュメント)

システム動作条件

- PCI Express x8 バススロット
- VMware ESXi 4.1
- VMware View. 4.6 及び 5.0
- PColP ゼロクライアント (Ver 3.4.x 以降) 又は VMware View client (Ver 4.6 以降)
- サポートされた仮想マシン OS
 - Windows XP
 - Windows 7(32ビット又は 64ビット)
- PColP® に最適化されたネットワーク環境
- 1 つ又は 2 つの APEX 2800 カード (1 サーバにつき)
- 最新のドライバはエルザジャパン WEB サイト (<http://www.elsa-jp.co.jp>) または <http://techsupport.teradici.com> よりダウンロードください (要登録)。

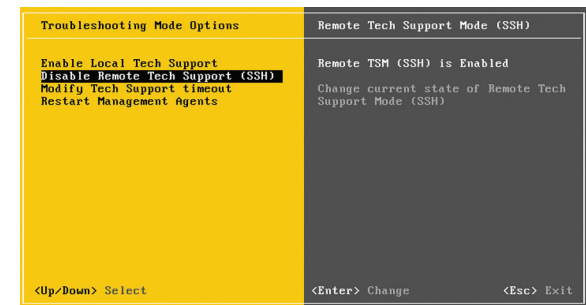
保証

この製品はご購入から 3 年間の無償保証期間が設定されております。保証を受けるためには必ずユーザー登録を行ってください。

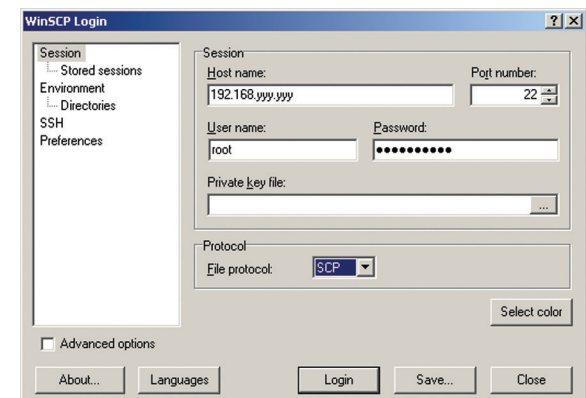
より詳しい情報については、エルザジャパン WEB サイト <http://www.elsa-jp.co.jp> をご覧になるか、お買い求めの販売代理店までお問い合わせください。

2 ESXi ドライバパッケージのインストール

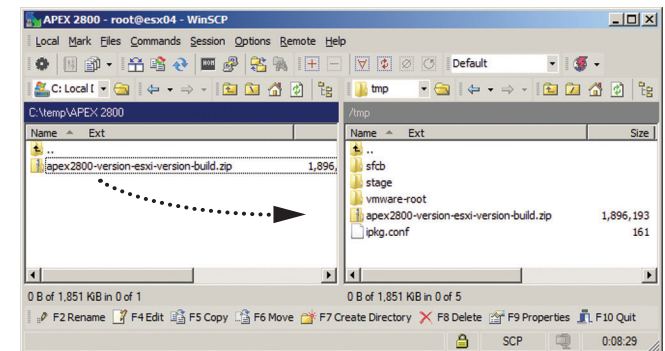
1. VMware ESXi サーバでリモートログインを有効にします。
 - a. F2 キーを押し、カスタマイズ画面に入ります。
 - b. ユーザ名とパスワードを入力します。
 - c. 「Troubleshooting Mode Options」>「Enable Remote Tech Support(SSH)」を選択します。



2. ドライバパッケージを別の PC から ESXi サーバに安全にコピーします。
 - a. WinSCP(Windows Secure Copy) を PC にダウンロードします。
 - b. WinSCP を起動させ、ESXi サーバのホスト名 (又は IP アドレス)、ユーザ名、パスワードを指定します。
 - c. File protocol が「SCP」になっている事を確認します。
 - d. 「Login」をクリックします。

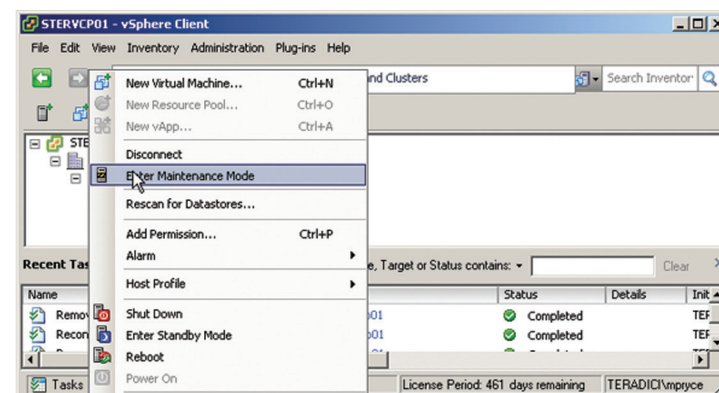


- e. 「apex2800-version-esxi-version-xxxxxx.zip」(x は数字) をドラッグ & ドロップで ESXi サーバの /tmp フォルダにコピーします。



1 APEX 2800 カードのインストール

1. サーバにホストされている全ての仮想マシンがパワーダウン、又は別のサーバに移行されている事を確認してください。
2. VMware vSphere Client で、インベントリ内の ESXi サーバ名を右クリックし、「メンテナンスモードへの切り替え」を選択してください。

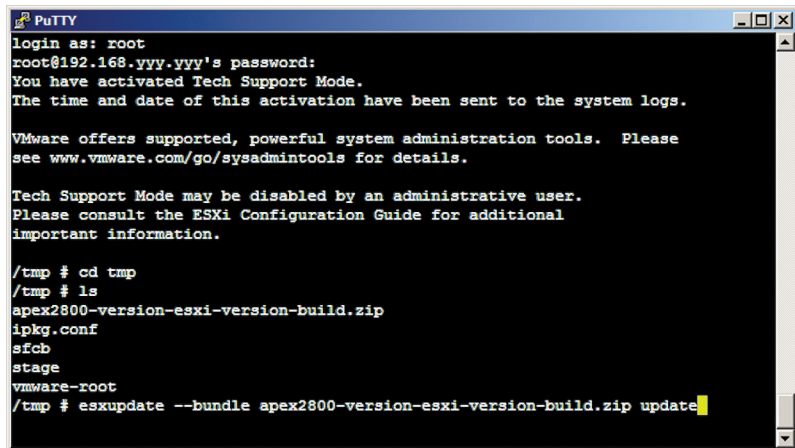


3. サーバの電源をオフにし、電源ケーブルが抜けている事を確認してください。
4. APEX 2800 を空いている PCI Express スロットに差し込み、金具を固定してください。
5. サーバをサージ対策済の電源コンセントに接続し、電源をオンにしてください。

3. PC から ESXi サーバに SSH クライアントソフト (PuTTY 等) で接続してドライバパッケージをインストールします。

- a. /tmp フォルダに移動します。
- b. 下記のコマンドを入力します。

```
esxupdate --bundle apex2800-version-esxi-version-xxxxxx.zip update
```



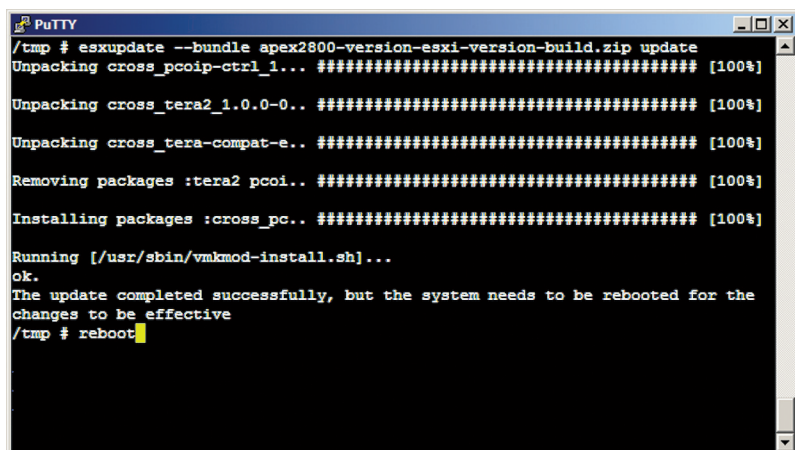
```
login as: root
root@192.168.yyy.yyy's password:
You have activated Tech Support Mode.
The time and date of this activation have been sent to the system logs.

VMware offers supported, powerful system administration tools. Please
see www.vmware.com/go/sysadmintools for details.

Tech Support Mode may be disabled by an administrative user.
Please consult the ESXi Configuration Guide for additional
important information.

/tmp # cd tmp
/tmp # ls
apex2800-version-esxi-version-build.zip
ipkg.conf
sfcb
stage
vmware-root
/tmp # esxupdate --bundle apex2800-version-esxi-version-build.zip update
```

下記画像のメッセージが現れたらインストール完了です。



```
/tmp # esxupdate --bundle apex2800-version-esxi-version-build.zip update
Unpacking cross_pcoip-ctrl_1... ##### [100%]

Unpacking cross_tera2_1.0.0-0.. ##### [100%]

Unpacking cross_tera-compat-e.. ##### [100%]

Removing packages :tera2 pcoi.. ##### [100%]

Installing packages :cross_pc.. ##### [100%]

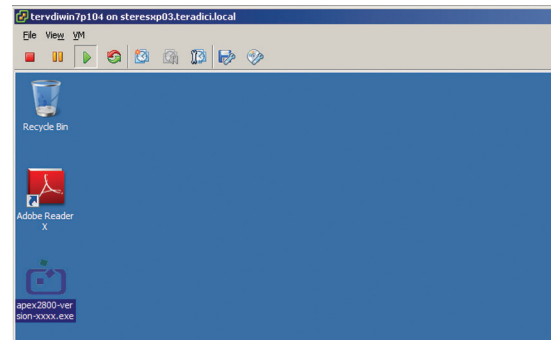
Running [/usr/sbin/vmkmmod-install.sh]...
ok.
The update completed successfully, but the system needs to be rebooted for the
changes to be effective
/tmp # reboot
```

4. ESXi サーバを再起動します。
5. VMware vSphere Client で、インベントリ内の ESXi サーバ名を右クリックし、「メンテナンスモードの終了」を選択してください。

3 仮想マシンドライバのインストール

APEX 2800 仮想マシンドライバを各仮想マシンにインストールします。

1. 仮想マシンの電源をオンにします。
2. vSphere Client から仮想マシンのコンソールウィンドウを開きます。



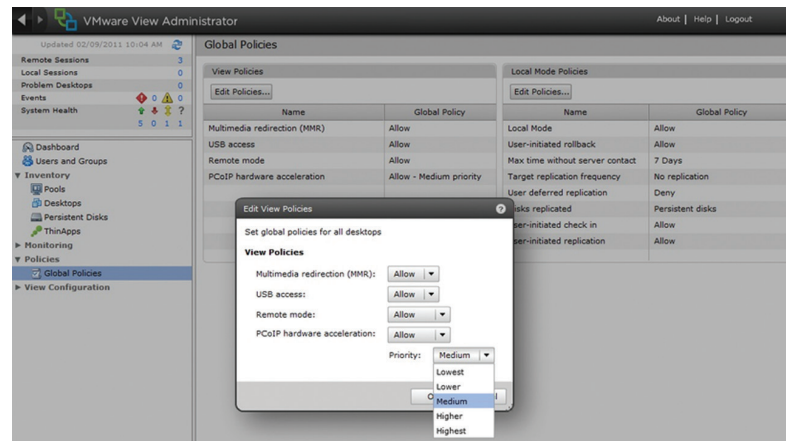
3. 「apex2800-version-xxxxxx.exe」(x は数字) を実行し、表示される手順に従いインストールします (注意: このパッケージはこの vSphere Client のコンソールからインストールする必要があります。PCoIP セッション中の仮想マシンからインストールできません)。
4. インストールが完了したら「reboot the machine later」を選択します。

重要

仮想マシンの電源を落としてから、再度立ち上げてください。これにより ESXi サーバから、更新された仮想マシンイメージの検出が確実にになります。

4 「Group Policy Settings」の確認

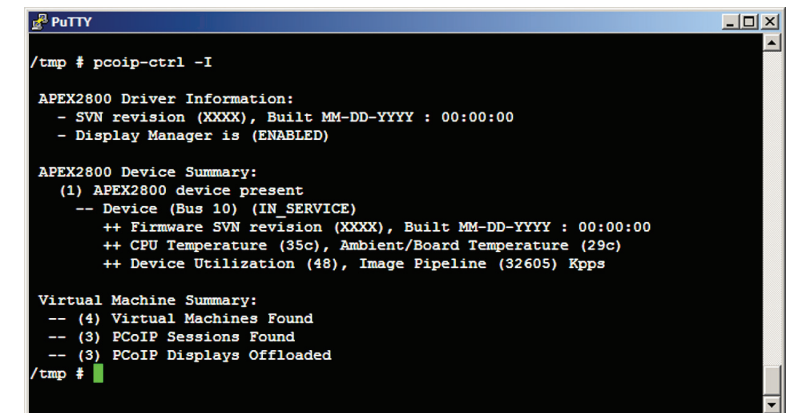
1. View Connection Server の「Group Policy Settings」を確認します。
 - 「PCoIP hardware acceleration」が有効になっている事を確認してください。
 - その他のポリシーでも PCoIP ハードウェアアクセラレーションを有効・無効に設定する箇所では「許可 (Allow)」の設定にしてください。



5 APEX 2800 ステータスの確認

これで APEX 2800 のインストール及び設定が完了します。

1. APEX 2800 の動作ステータスを確認します。
 - a. SSH で接続し、下記のコマンドを実行します。
pcoip-ctrl -l



```
/tmp # pcoip-ctrl -l

APEX2800 Driver Information:
- SVN revision (XXXX), Built MM-DD-YYYY : 00:00:00
- Display Manager is (ENABLED)

APEX2800 Device Summary:
(1) APEX2800 device present
-- Device (Bus 10) (IN_SERVICE)
++ Firmware SVN revision (XXXX), Built MM-DD-YYYY : 00:00:00
++ CPU Temperature (35c), Ambient/Board Temperature (29c)
++ Device Utilization (48), Image Pipeline (32605) Kpps

Virtual Machine Summary:
-- (4) Virtual Machines Found
-- (3) PCoIP Sessions Found
-- (3) PCoIP Displays Offloaded
/tmp #
```

より詳細な情報については <http://techsupport.teradici.com> より “Teradici APEX 2800 Administrator’s Guide” をダウンロードしてご参照ください。

不明な点がある場合

より詳細な情報はエルザジャパンウェブサイト <http://www.elsa-jp.co.jp> または <http://techsupport.teradici.com> をご参照ください。

下記の事が可能です。

- セルフユーザ登録
- PCoIP ドキュメント及び FAQ の参照
- PCoIP ネットワーク設計チェックリストの入手
- PCoIP 製品に関するダウンロード
- テクニカルサポートリクエスト